

(プレスリリース)

プレス各位

## 脱原発訴訟原告団連名による規制委員会・規制庁への 申し入れ

### ならびに脱原発原告団連絡会の結成に向けた呼びかけ 記者会見のご案内

脱原発原告団全国連絡会呼びかけ人

小野有五（泊原発の廃炉をめざす会）

蔦川正義（原発なくそう！九州玄海訴訟原告団）

河合弘之（脱原発弁護団全国連絡会代表）

準備会事務局 大石光伸（東海第二原発訴訟原告団）

標記につきまして、下記の通り記者会見を開催いたします。

東京電力福島第一原発事故は事故調査さえままならず、汚染水対策さえできない状態で、14万人にのぼる避難者の救済もなんら解決されていません。原発が人間の手に負えないことを物語っています。

歴史的な国民災禍という苦しい経験をしたにもかかわらず、政府はその反省もなく責任を明確にすることもないまま、再び原発の再稼働を目論み、原子力ムラの復活が表面化しています。

全国各地では原発の再稼働差止めの住民訴訟がおこなわれています。東京電力福島第一原発事故以後初の判決となった福井地裁大飯判決は、司法の独立と良心をもって、国民の人格権がなにより優先されるという観点から住民勝訴、運転差止めの判決を下しました。

私たちは各地で闘われている訴訟の原告住民がともに情報を共有し、力を合わせられることがあれば一緒できるように、加えて様々な訴えを起こしている皆さんとも広くつながってゆけたらと考え、原告団全国連絡会の呼びかけをいたします。

記

(日時) 2014年6月2日(月)

15:00～15:45 原告団連名による原子力規制委員会・規制庁への申し入れ

16:00～16:30 記者会見

(場所) 参議院議員会館101会議室

添付: 脱原発全国連絡会結成の呼びかけ「脱原発全国連絡会をつくりましょう」

原告団連名による原子力規制委員会、規制庁への申し入れ

(プレスリリース)

つきましては上記の通り、呼びかけ人、ならびに参加団体、支援者による記者会見を開催いたします。

(記者会見出席者氏名)

小野有五(泊原発の廃炉をめざす会共同代表)

蔦川正義(原発なくそう!九州玄海訴訟・久留米原告団長)

大石光伸(東海第2原発差止訴訟原告団共同代表)

河合弘之(脱原発弁護団全国連絡会共同代表) 以上呼びかけ人

相沢一正(東海第2原発差止訴訟原告団共同代表)

海渡雄一(脱原発弁護団全国連絡会共同代表)

武藤類子(福島原発告訴団団長)

地脇美加(福島原発告訴団事務局長)

木村結(東電株主代表訴訟事務局長)

大久保徹夫(原発メーカー訴訟の会事務局長)

鎌田慧(1000万人アクション呼びかけ人)